



雅な世界ようこそ ～塩原温泉で雛めぐり～

2月4日から4月3日にかけて、塩原もの語り館を主会場として「塩原のんびり湯くくり雛めぐり」が開催されています。期間中は、十二単の着付け体験や様々なイベントが開催されるほか、天皇の間記念公園に旧華族三島子爵ゆかりの大正時代の雛人形も特別公開されています。初日にはオープニングイベントとして琴の演奏が行われ、もの語り館を訪れた人たちは、振舞われた甘酒を味わいながら一足早いひな祭りを楽しんでいました。



プロの技術を見て学んで 将来のために ～セルジオ越後杯争奪戦 交流試合～

1月28日・29日と2月4日・5日の2週にわたり、くろいそ運動場体育館でフットサル大会「セルジオ越後杯争奪戦」が行われ、24の小学生サッカークラブが熱戦を繰り広げました。この大会は、サッカー解説者でおなじみのセルジオ越後氏が来日当初、旧黒磯市に住んでいたことを縁として始まり、今年で37回目。各クラブ vs セルジオ氏+現役プロ選手などで構成されるチームとの交流試合では、プロのテクニックに場内から歓声が上がりました。



後続を引き離し 見事王座へ振り返り ～郡市町対抗駅伝競走大会～

冬の風物詩「駅伝」。1月29日、県庁と栃木市総合運動公園を往復する第58回郡市町対抗駅伝競走大会が開催され、本市からは県内最多の3チームが出場。

それぞれの市町の期待を背負う30チームがしのぎを削る中、那須塩原市Aチームが3時間4分18秒で、見事2年ぶりの総合優勝を果たしました。Bチームは9位、Cチームは14位と好成績を残し、「陸上王国 那須塩原」を県内に知らしめてくれました。

←復路の栃木市総合運動公園を一齐にスタートする選手たち
↓市長へ優勝を報告。右から2番目が宮下選手



第9区と第10区では、松村選手と宮下選手が区間賞を受賞。さらに、本大会のMVPにも選ばれた宮下選手は「なれると思わなかったのが嬉しい。先輩たちがつけてくれた差を縮めてはいけないと思ひ必死だった」と大会を振り返りました。



いろんな遊びに挑戦だ！ ～子どもフェスタ～

2月19日、市子ども会育成会連絡協議会主催の子どもフェスタがにしなすの運動公園体育館で開催されました。

昨年からはまったこの催しには、ベーゴマなどの昔の遊びやニュースポーツ、ボルダリングや格闘技など多くの体験ブースが用意され、会場を訪れた子どもたちは、元気に体を動かしていました。格闘技のスパーリングを体験した女の子は「スッキリした」と満面の笑みで答えてくれました。



みんなの知恵で 安心・安全に ～消費生活と環境展～

普段捨ててしまっているもの。それに少し工夫を加えるだけで、違う何かに生まれ変わるかもしれません。毎日の食事も、少し工夫するだけで健康的な生活につながります。

そんな、暮らしの中で使える知恵を紹介する消費生活と環境展が2月19日、いきいきふれあいセンターで行われました。展示や紹介だけでなく、参加型のワークショップなども催され、会場は多くの人でにぎわいました。



伝統の大会 繰り広げられた熱戦 ～関東かるた大会～

今年で62回を数え、毎年恒例となっている黒磯いぶき会と黒磯公民館共催の関東かるた大会。2月5日、北は宮城から南は東京に至るまで、今年も県内外から老若男女140人が集いました。

全員が耳を澄まし、札読み以外の一切の音がしない会場。決まり字が読み上げられた瞬間に響く、取り札を払う鋭い音と畳を打つ重い音。静と動が入り交じり、独特な緊張感が漂う中で、参加者は100分の1秒を競い合いました。



将来の夢に向かい 一步踏み出そう ～市商工会青年部 起業教育セミナー～

激動する社会で豊かな人生を送るために必要なものは何だろうか。市商工会青年部による高校生のための起業教育セミナーが1月29日に開催され、黒磯高校・黒磯南高校の生徒23人が参加しました。

進学か就職か。さらに、どの学校や企業に進むべきか。そう遠くない将来、人生の岐路に立つ彼ら。このまちで商売を営む先輩たちの体験談やアドバイスなどを聞きながら、自らの過去の実体験を振り返り、自分たちの未来を思い描きました。